

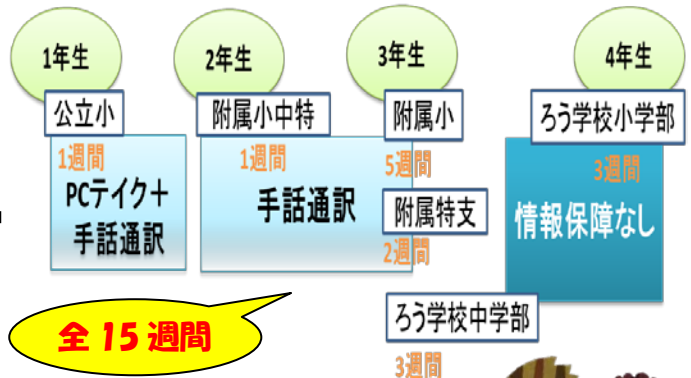
# 群馬大学 教育実習の情報保障から考える

## 群馬大学教育学部 教育実習の特徴

必修！群大生全員が**附小または附中へ5週間**の教育実習



4年次	教育実践 インターンシップ	
3年次	教育実習	
2年次	授業実践基礎学習	
1年次	教育現場体験学習	



### 事前準備

手話通訳者への事前説明会に同席

- ・基本情報を共有
- ・通訳介在場面の希望など確認

実践的な力を身につける！

現場に強くなる！



### 通訳配置



児童と  
直接話したい!!  
給食や休み時間以外  
全てに手話通訳配置

### 課題・改善

#### サポートルーム

通訳者の確保（2カ月前～）→関係団体機関紙に通訳協力のお願いと募集  
説明会（職員・実習生→通訳者 情報共有や引き継ぎの確認）→MLや報告書の活用  
通訳者、ろう学生、実習校とのやりとりや確認

#### ろう教生

記録を取りながら通訳を見る→ノートを書く視野に通訳が入るようにする  
児童同士の会話の選択方法 →全体へ発言している児童や気になった集団を中心にする  
教生同士の連携 →同専攻の学生が同じグループに配置（大学）  
子どもとの会話 →児童一人一人にホワイトボードを準備（附小）  
毎日、朝の会で手話単語を教える

### 二面性を持つろう学生の課題

実習生として

- ・学校経営
- ・教科指導
- ・児童・生徒指導



- ・先生、児童・生徒、教生とのコミュニケーション
- ・手話通訳の活用

「ろう」として

### 一般校実習の意義

聾学校だけでなく、一般校での経験も重ねることができた。聞こえる子どもたちとかかわる中で、聞こえないことを伝える、学校経営・教科指導など、基礎的な学習をすることができた。

### 通訳活用のスキル

以前は、通訳に対して自分の希望を伝えようという意識が薄かった。しかし4年間の実習を通して、相互の情報共有のために、自分に必要な方法を考え、判断し、伝える力が培われた。

### 問い合わせ先

教育学部 4年 山本綾乃  
障害学生サポートルーム

連絡先（群馬大学障害学生サポートルーム行）

e-mail : a\_dis-support@ml.gunma-u.ac.jp Tel/Fax:027-220-7114

